



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月28日

上場会社名 大日本住友製薬株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4506 URL <http://www.ds-pharma.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 多田 正世
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレート・コミュニケーション部長 (氏名) 渡辺 晶子 (TEL) 06-6203-1407
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月6日 配当支払開始予定日 平成27年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	198,926	11.6	16,847	41.0	17,502	37.7	13,214	12.4
27年3月期第2四半期	178,290	△1.7	11,945	△31.5	12,712	△27.0	11,758	35.2

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 11,097百万円(△56.2%) 27年3月期第2四半期 25,364百万円(37.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	33.26	—
27年3月期第2四半期	29.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	726,014	455,567	62.7
27年3月期	711,583	451,021	63.4

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 455,567百万円 27年3月期 451,021百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
28年3月期	—	9.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	401,000	8.0	29,000	24.6	28,500	22.2	20,000	29.5	50.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は添付資料P.4「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

詳細は添付資料P.4「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年3月期2Q	397,900,154株	27年3月期	397,900,154株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	597,471株	27年3月期	596,335株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年3月期2Q	397,303,133株	27年3月期2Q	397,305,768株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料の予想は、発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提条件等につきましては、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、平成27年10月29日 (木) に機関投資家・アナリスト向けに、第2四半期決算説明会を開催する予定です。この決算説明会で配布する資料等については、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は次のとおりであります。

売上高は、日本セグメントでは、高血圧症治療剤「アイミクス」等の売上拡大に努めましたが、長期収載品の売上減少の影響が大きく、減収となりました。また、北米セグメントでは、非定型抗精神病薬「ラツーダ」が堅調に売上拡大したことに加え、円安の影響もあり、大幅な増収となりました。この結果、連結合計では1,989億26百万円（前年同期比11.6%増）となりました。販売費及び一般管理費は、広告宣伝や研究開発等の積極的な戦略的投資の実施に加え、円安の影響により増加しました。この結果、営業利益は168億47百万円（同41.0%増）、経常利益は175億2百万円（同37.7%増）となりました。また、特別損益として、投資有価証券売却益等を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は132億14百万円（同12.4%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 日本

「アイミクス」、パーキンソン病治療剤「トレリーフ」および非定型抗精神病薬「ロナセン」の戦略品3剤ならびにビッグアナイド系経口血糖降下剤「メトグルコ」の売上は拡大しましたが、長期収載品の売上減少を補うには至らず、売上高は740億円（同5.3%減）となりました。セグメント利益は、売上減少の影響が大きく、220億51百万円（同15.8%減）となりました。

② 北米

「ラツーダ」や長時間作用型β作動薬「ブロバナ」、抗てんかん剤「アプティオム」の売上が伸長したことに加え、円安の影響もあり、売上高は901億57百万円（同33.7%増）となりました。セグメント利益は、売上増加による売上総利益の大幅な増加等により、295億11百万円（同115.9%増）となりました。

③ 中国

カルバペネム系抗生物質製剤「メロペン」等の売上は、現地通貨ベースでは微減となりましたが、円安の影響により、売上高は95億71百万円（同14.5%増）、セグメント利益は38億13百万円（同4.0%増）となりました。

④ 海外その他

「メロペン」の輸出が増加したこと等により、売上高は46億56百万円（同4.1%増）となりました。セグメント利益は、品目構成の変化による売上原価率の改善等により、8億9百万円（同29.8%増）となりました。

上記報告セグメントのほか、当社グループは、食品素材・食品添加物および化学製品材料、動物用医薬品、診断薬等の販売を行っており、それらの事業の売上高は205億40百万円（同3.3%増）、セグメント利益は8億58百万円（同12.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産およびキャッシュ・フローの状況に関する分析

① 資産および負債純資産の状況

資産については、流動資産は、現金及び預金や繰延税金資産が大きく増加しましたが、固定資産は、減価償却や投資有価証券の売却等により減少しました。この結果、総資産は前期末に比べ144億30百万円増加し、7,260億14百万円となりました。

負債については、有利子負債（社債及び借入金）は減少しましたが、未払法人税等の増加や「ラツーダ」の売上増加による売上割戻引当金の増加等により、前期末に比べ98億84百万円増加し、2,704億46百万円となりました。

純資産については、為替換算調整勘定やその他有価証券評価差額金が減少しましたが、利益剰余金が増加したことから、前期末に比べ45億45百万円増加し、4,555億67百万円となりました。

なお、当四半期末の自己資本比率は62.7%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上割戻引当金の増加や法人税等の支払額の減少等がありましたが、売上債権の増加等により、前年同期に比べ72億88百万円収入が減少し、142億78百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の取得による支出が発生しなかったことに加え、投資有価証券の売却による収入、投資事業組合からの分配による収入等が増加したため、前年同期に比べ129億91百万円収入が増加し、281億56百万円の収入となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に借入金の返済や配当金の支払等であり、前年同期に比べ26百万円支出が減少し、82億54百万円の支出となりました。

上記に、現金及び現金同等物の為替換算による影響額と連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の調整額を加えた結果、当四半期末における現金及び現金同等物は1,544億84百万円となり、前期末に比べ316億90百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績の動向を踏まえ、平成27年7月29日に公表した平成28年3月期通期連結業績予想を下記のとおり修正しました。

平成28年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	401,000	27,000	26,500	18,000	45.31
今回修正予想 (B)	401,000	29,000	28,500	20,000	50.34
増減額 (B-A)	—	2,000	2,000	2,000	—
増減率 (%)	—	7.4	7.5	11.1	—
(ご参考) 前期実績 (平成27年3月期)	371,370	23,275	23,331	15,447	38.88

売上高は、国内の売上が低調であるものの、北米セグメントでの売上が引き続き堅調に推移することにより、前回発表予想どおりの4,010億円を見込んでおります。

一方、販売費及び一般管理費は、ほぼ前回発表予想通り推移すると見込んでおりますが、慢性閉塞性肺疾患(COPD)治療剤として米国で開発中のSUN-101に関する条件付対価の公正価値が見直され、費用の戻入が発生したことにより全体では前回発表予想より減少するものと想定され、営業利益は20億円増の290億円を見込んでおります。

経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益は、営業利益の増加に伴いそれぞれ20億円増の285億円、200億円に修正しました。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更します。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載する方法に変更しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,553	42,064
受取手形及び売掛金	103,072	106,189
有価証券	111,293	113,551
商品及び製品	50,749	47,847
仕掛品	1,626	3,038
原材料及び貯蔵品	10,012	11,946
繰延税金資産	38,867	50,931
短期貸付金	49,052	41,972
その他	6,598	7,517
貸倒引当金	△125	△8
流動資産合計	401,699	425,050
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	94,184	94,285
減価償却累計額及び減損損失累計額	△52,819	△53,911
建物及び構築物(純額)	41,365	40,374
機械装置及び運搬具	78,075	79,803
減価償却累計額及び減損損失累計額	△69,007	△71,261
機械装置及び運搬具(純額)	9,068	8,541
土地	6,297	6,296
建設仮勘定	1,245	1,643
その他	33,628	33,727
減価償却累計額及び減損損失累計額	△26,446	△27,136
その他(純額)	7,182	6,590
有形固定資産合計	65,160	63,446
無形固定資産		
のれん	88,075	84,882
仕掛研究開発	64,456	64,043
その他	21,332	22,301
無形固定資産合計	173,863	171,226
投資その他の資産		
投資有価証券	58,193	56,154
退職給付に係る資産	1,935	2,066
繰延税金資産	4,794	2,744
その他	5,982	5,367
貸倒引当金	△44	△42
投資その他の資産合計	70,860	66,290
固定資産合計	309,884	300,963
資産合計	711,583	726,014

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,492	13,009
短期借入金	—	1,084
1年内償還予定の社債	30,000	40,000
1年内返済予定の長期借入金	6,522	12,771
未払法人税等	3,288	16,283
賞与引当金	9,416	10,093
返品調整引当金	8,580	8,867
売上割戻引当金	36,351	44,412
未払金	35,252	32,253
その他	14,939	11,981
流動負債合計	156,843	190,758
固定負債		
社債	30,000	20,000
長期借入金	20,000	8,000
繰延税金負債	17,354	17,155
退職給付に係る負債	15,274	15,454
その他	21,089	19,078
固定負債合計	103,718	79,688
負債合計	260,562	270,446
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,400	22,400
資本剰余金	15,860	15,860
利益剰余金	326,686	333,495
自己株式	△660	△661
株主資本合計	364,286	371,093
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,099	21,879
繰延ヘッジ損益	1	△1
為替換算調整勘定	68,171	66,868
退職給付に係る調整累計額	△4,536	△4,271
その他の包括利益累計額合計	86,735	84,473
純資産合計	451,021	455,567
負債純資産合計	711,583	726,014

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	178,290	198,926
売上原価	48,470	52,086
売上総利益	129,820	146,839
返品調整引当金繰入額	—	5
返品調整引当金戻入額	2	—
差引売上総利益	129,822	146,834
販売費及び一般管理費		
給料	18,183	20,836
賞与引当金繰入額	5,973	5,692
退職給付費用	2,215	2,473
研究開発費	33,168	40,200
その他	58,336	60,783
販売費及び一般管理費合計	117,877	129,986
営業利益	11,945	16,847
営業外収益		
受取利息	184	246
受取配当金	833	661
投資事業組合運用益	891	1,454
その他	443	124
営業外収益合計	2,352	2,487
営業外費用		
支払利息	467	471
為替差損	488	800
その他	630	560
営業外費用合計	1,586	1,832
経常利益	12,712	17,502
特別利益		
投資有価証券売却益	—	6,077
固定資産売却益	8,278	—
受取損害賠償金	1,711	—
特別利益合計	9,989	6,077
特別損失		
減損損失	—	154
事業構造改善費用	646	—
特別損失合計	646	154
税金等調整前四半期純利益	22,054	23,425
法人税等	10,296	10,210
四半期純利益	11,758	13,214
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,758	13,214

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	11,758	13,214
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	113	△1,220
繰延ヘッジ損益	28	△3
為替換算調整勘定	13,302	△1,158
退職給付に係る調整額	161	264
その他の包括利益合計	13,605	△2,117
四半期包括利益	25,364	11,097
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	25,364	11,097
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	22,054	23,425
減価償却費	7,134	6,931
のれん償却額	2,565	3,032
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	152	439
その他の引当金の増減額(△は減少)	148	9,153
受取利息及び受取配当金	△1,018	△908
投資事業組合運用損益(△は益)	△890	△1,379
支払利息	467	471
有形固定資産売却損益(△は益)	△8,278	4
投資有価証券売却損益(△は益)	△31	△6,077
事業構造改善費用	646	—
売上債権の増減額(△は増加)	19,069	△3,334
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,996	△1,162
仕入債務の増減額(△は減少)	1,489	802
未払金の増減額(△は減少)	△3,537	△2,236
その他	△2,199	△9,010
小計	33,777	20,153
利息及び配当金の受取額	1,151	1,020
利息の支払額	△442	△327
事業構造改善費用の支払額	△679	—
法人税等の支払額	△12,240	△6,568
営業活動によるキャッシュ・フロー	21,566	14,278
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△20,307	—
有価証券の売却による収入	1,499	—
有価証券の償還による収入	24,533	18,032
有形固定資産の取得による支出	△5,016	△2,674
有形固定資産の売却による収入	10,603	5
無形固定資産の取得による支出	△1,428	△3,532
投資有価証券の取得による支出	△1,068	△33
投資有価証券の売却による収入	43	6,264
投資事業組合からの分配による収入	1,053	3,035
短期貸付金の純増減額(△は増加)	5,779	7,000
その他	△527	58
投資活動によるキャッシュ・フロー	15,164	28,156
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	1,113
長期借入金の返済による支出	△5,000	△5,770
配当金の支払額	△3,576	△3,575
その他	295	△21
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,280	△8,254
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,770	△799
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	32,221	33,381
現金及び現金同等物の期首残高	73,919	122,794
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	198	—
連結子会社の決算期変更による現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	△1,691
現金及び現金同等物の四半期末残高	106,339	154,484

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	医薬品事業						
	日本	北米	中国	海外 その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	78,160	67,410	8,357	4,471	158,399	19,891	178,290
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	26	26
計	78,160	67,410	8,357	4,471	158,399	19,917	178,316
セグメント利益	26,181	13,665	3,666	623	44,136	977	45,114

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品素材・食品添加物及び化学製品材料、動物用医薬品、診断薬等の事業を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	44,136
「その他」の区分の利益	977
研究開発費(注)	△33,168
セグメント間取引消去	△0
四半期連結損益計算書の営業利益	11,945

(注) 当社グループは、研究開発費をグローバルに管理しているため、セグメントに配分しておりません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	医薬品事業						
	日本	北米	中国	海外 その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	74,000	90,157	9,571	4,656	178,385	20,540	198,926
セグメント間の内部 売上高又は振替高	16	—	—	—	16	32	48
計	74,016	90,157	9,571	4,656	178,401	20,572	198,974
セグメント利益	22,051	29,511	3,813	809	56,185	858	57,044

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品素材・食品添加物及び化学製品材料、動物用医薬品、診断薬等の事業を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	56,185
「その他」の区分の利益	858
研究開発費(注)	△40,200
セグメント間取引消去	4
四半期連結損益計算書の営業利益	16,847

(注) 当社グループは、研究開発費をグローバルに管理しているため、セグメントに配分しておりません。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「北米」セグメントにおいて、将来の収益性がないと判断した仕掛研究開発について、回収可能性を評価し、154百万円を減損損失に計上しております。